

アンケート調査による県内透析施設の災害対策

佐藤 智、熊谷 誠

(社)秋田県臨床工学技士会

<はじめに>

阪神・淡路大震災から10年が経過し、昨年の新潟・中越地震は記憶に新しい。今年、8月16日に宮城県沖で発生した地震において、秋田でも震度4を記録された所があった。

秋田県に地震その他の大災害が起きたときに、どういう事態が起きるか予測することは大変難しいが、透析医療機関が直面するであろう問題に対策をたてる必要に迫られている。

今回、当技士会では、県内透析施設の災害時の危機管理体制を再度アンケート調査したので報告する。

<対象と方法>

対象とした県内42施設に無記名記入方式のアンケート用紙を各施設長宛に配布した。回答は32施設よりあり、回収率は76.2%であった。

<結果>

「停電時に保安電源として自家発電装置がありますか？」では公的病院・私立病院においては殆どの施設に備えられており、自治体病院と医院・クリニックでは半分の施設に自家発電が無いとの回答であった。尚、施設区分で公的病院には大学病院・厚生連・赤十字・社会保険・労災病院として回答して頂いた。

「受水槽・貯水槽はありますか？」でも自治体病院、公的病院・私立病院においては、殆どの施設に備えられており、医院・クリニックでは半分の施設に受水槽・貯水槽が無いとの回答であった(図1)。

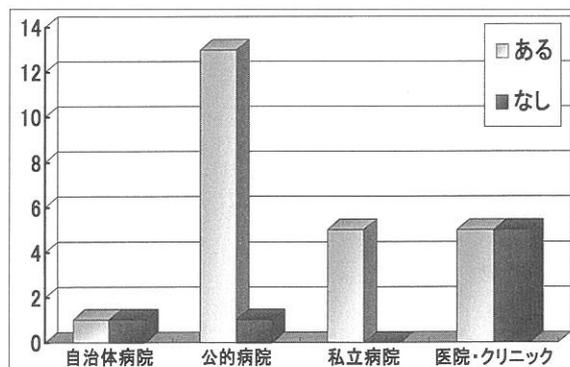


図1. 停電時に保安電源として自家発電装置がありますか？

「透析装置(コンソール)は常にロックしていますか？」では、80%の施設でロックはしてな

いとの回答があった（図2）。阪神・淡路大震災ではキャスターにロックしないほうが転倒防止に役立つとの報告があり。昨年の中越地震でもすべての施設で、キャスターにロックをかけずに使用し、その結果透析装置の転倒は1台も無かったと報告があった（図3）。

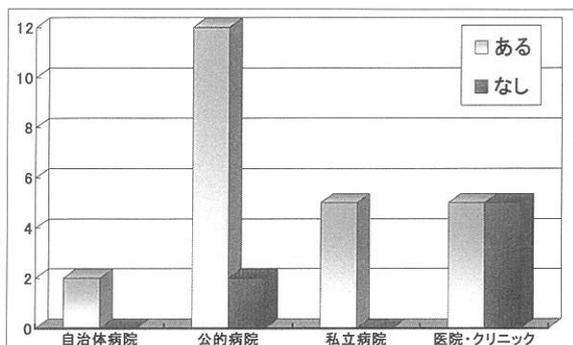


図2. 受水槽・貯水槽はありますか？

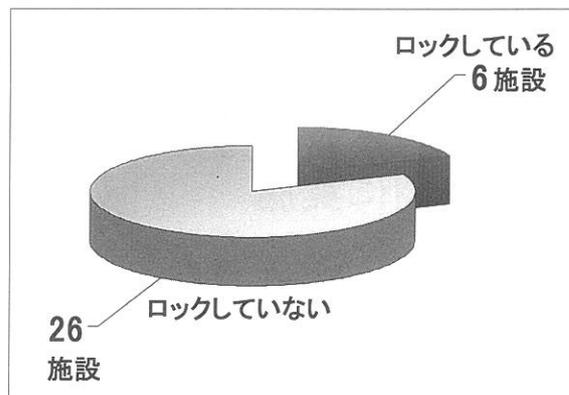


図3. 透析装置（コンソール）は常にロックしていますか？

「患者の連絡先、透析条件が記載されている患者名簿はありますか？」では、用意されている施設は全体で21施設の66%であった（図4）。

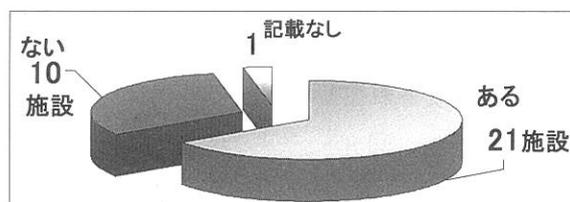


図4. 患者の連絡先、透析条件が記載されている患者名簿がありますか？

「災害発生時の対応フローチャートや防災マニュアルがありますか？」では、なし14施設。あるが18施設で全体の56%であった（図5）。

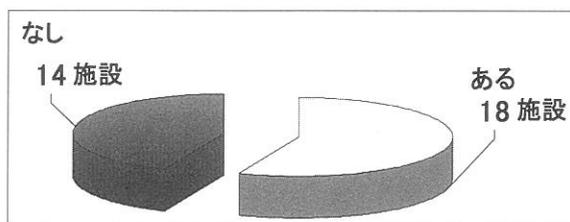


図5. 災害発生時の対応フローチャートや防災マニュアルがありますか？

「災害を想定し、緊急離脱法の訓練を定期的に行っていますか？」では、スタッフによる訓練は、定期的に訓練をしている施設が6施設。過去に実施経験があるが8施設、訓練をしていない施設は18施設であり、全体の56%の施設でスタッフによる緊急離脱の訓練が実施していないとの回答

であった（図6）。

また、患者さんへの訓練では、定期的を実施しているのは3施設、過去に実施経験があるが12施設、実施していないが17施設であった（図7）。患者さんを含めた訓練は理想だが、少なくとも透析スタッフによる緊急離脱の訓練を経験しておくことが重要であり、緊急時に少しでも冷静な対応に繋がるものと思う。

災害を想定し、緊急離脱の訓練を定期的に行っていますか？（施設数）

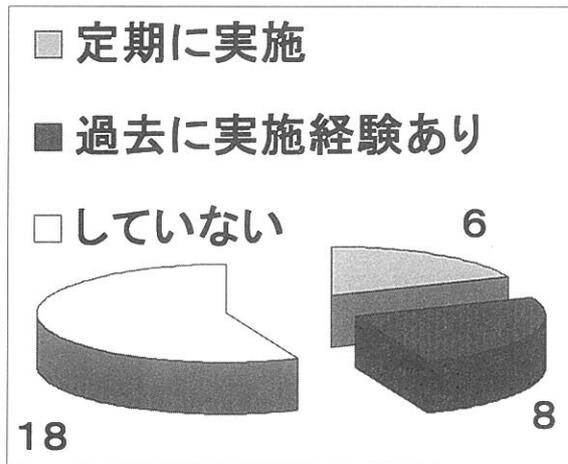


図6. スタッフの訓練

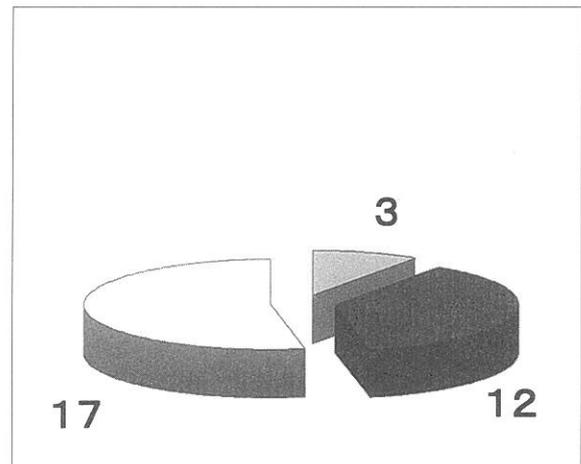


図7. 患者の訓練

「患者用災害時パンフレットを作成されていますか？」では、作成している施設は6施設19%。作成していないが26施設81%であった（図8）。

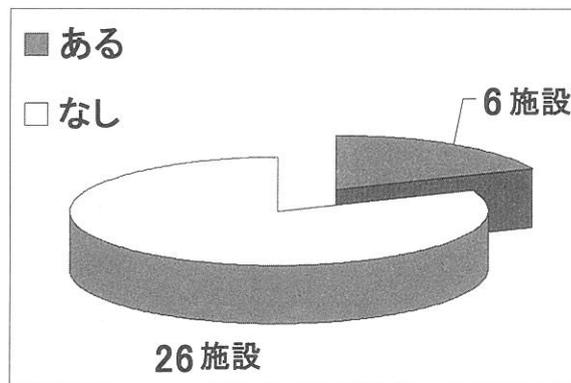


図8. 患者用災害時パンフレットを作成されていますか？

「貴施設周辺が震災にあった場合に他の施設との通信手段で有効と考えるものは何ですか？」と複数回答可で答えていただいた。結果、多くの施設が、電話と携帯電話が有効な通信手段との回答であった（図9）。しかし、被災地の電話はつながりにくく、パソコンによる電子メールの活用も必要と思う。

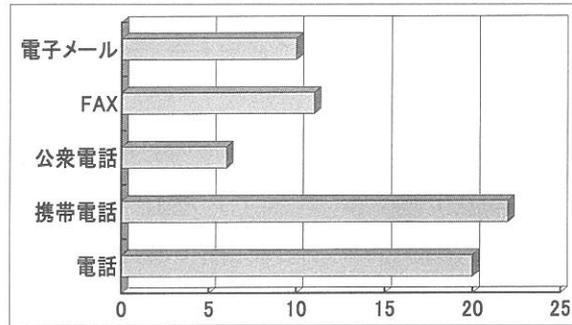


図9. 貴施設周辺が震災にあった場合に他の施設との通信手段で有効と考えるものは何ですか？(複数回答可)

「秋田県内において、透析施設間の災害時情報ネットワークが必要と考えますか？」では、殆どの施設が必要との回答であった(図10)。災害時の情報収集では、迅速な被災状況の把握が必要であり、被災情報の発信では透析医療機関への協力要請が必要となる。本県も、研究会が中心となり災害時情報ネットワークの検討をして頂ければと思う。

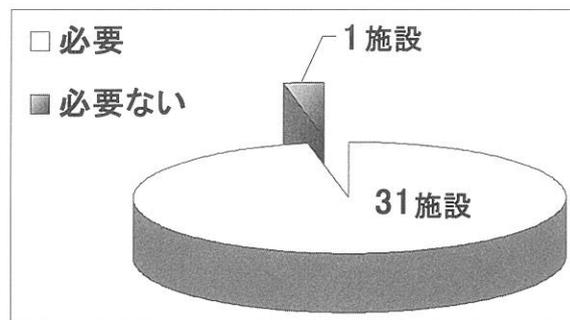


図10. 秋田県内において、透析施設間の災害時情報ネットワークが必要と考えますか？

<まとめ>

1. 県内透析施設の災害対策について、透析施設長宛にアンケート調査を行った。
2. 災害時のマニュアルや緊急離脱訓練等が低い実施状況であった。
3. 県内透析施設間の災害時情報ネットワークが必要との回答が多かった。

最後に今回のアンケート調査にご協力していただきました、皆様方に感謝いたします。